

1 教職員による学校評価

No.	質問項目	ポイント
1	学校の在り方や経営方針について、教職員間で共通理解がなされ、円滑な学校運営がなされている。	2.9
2	校務分掌の活動計画は、教育目標や重点目標を踏まえたものになっており、目標達成のために、分掌間の連絡・調整や協力体制が図られている。	2.9
3	教職員は、校内外の研修会に積極的に参加するなど、研究・研修に意欲的に取り組んでいる。	3.2
4	生徒や保護者、地域社会のニーズに対応した教育課程を編成し、多様な進路希望に対応できる学習機会を保障している。	3.1
5	学習内容や教材・指導方法に創意工夫し、基礎学力の定着や技能の習得・向上に努めている。	3.3
6	資格取得対策や多面的総合的評価の推進を図り、意欲を持って主体的に学習に取り組もうとする態度を養うよう努めている。	3.3
7	基本的生活習慣や倫理観、規範意識等に関する指導を徹底し、不易で普遍的な価値観の育成に努めている。	2.8
8	生徒へのアンケートや個人面談を行うことで、年間を通して早期発見・未然防止につながるよう、いじめ防止に努めている。	3.2
9	交通安全や不審者等に関する取組の充実を図り、事故や被害を未然に防止しようとする態度を養うよう努めている。	3.0
10	生徒や保護者との面談、志望や適性の把握、進学・就職先の情報収集や提供充実を図り、進路目標の達成に努めている。	3.0
11	インターンシップやボランティア活動等の充実を図り、望ましい職業観や勤労観の育成に努めている。	2.8
12	学科・学年・進路指導部の連携を強化し、大学や公務員希望者を早くから選定し、計画的な支援に努めている。	3.0
13	心身の健康や衛生管理に関する指導を徹底し、常に体調を良好に保とうとする態度や能力の育成に努めている。	3.3
14	食の大切さや安全性、健康な食生活に関する取組の充実を図り、自らの健康や体力を増進しようとする態度を育成することに努めている。	3.3
15	安全点検や緊急時の対応に関する取組を強化し、学校全体の危機管理意識の高揚や事故の防止に努めている。	3.2
16	課題研究におけるプロジェクト学習の充実を図り、自ら考え、実践し、表現する力の育成に努めている。	3.3
17	庭園や花壇及びその他、校地内の環境整備を通して、温暖化防止や環境保全に対する意識の高揚を図っている。	3.3
18	農業クラブ活動への積極的な参加を図るとともに、各学科の特色を生かした各種資格取得に対する指導の充実に取り組んでいる。	3.3
19	農場予算の適正な執行、収量や作業の記録、農薬や肥料の受け払いなどの基礎的な業務を確実にやっている。	3.4
20	新しい取組や技術の導入を積極的に推進し、収量や品質の向上、付加価値の創出に努めている。	3.3
21	農場運営に協力するとともに、柏農市等を推進して本校の農業教育や生産物に関する情報発信と六次産業化に努めている。	3.2
22	地域の保育園や小・中学校、住民に施設設備を積極的に開放し、学校に対する地域社会の理解を深めることに努めている。	3.1
23	保護者や学校評議員、関係機関等による参観や協議の場を設定し、教育活動の充実や教員の意識向上に努めている。	3.2
24	農産物販売等の校外活動、農業クラブや生徒会による地域活動、運動部活動を推進し、生徒の自主的活動の活性化を図るよう努めている。	3.3